

「現代的健康課題を抱える子供たちへの支援～養護教諭の役割を中心として～」

(平成 29 年 3 月文部科学省) より抜粋

第 2 章

学校における児童生徒の 課題解決の基本的な進め方

本章では、様々な健康課題を抱える児童生徒が、どの学校においても課題解決に向けた支援を確実に受けるため、次の4つのステップを基本に、養護教諭、管理職、学級担任等、教職員以外の専門スタッフが果たす役割についてまとめている。なお、ここでは、学校における基本的な流れを示したものであるため、障害のある児童生徒への教育支援、緊急で対応する必要がある学校で独自に手順が示されている場合や、いじめや不登校、児童虐待など法令等で対応方法が定められているものについては、別途定められている手順に従って対応していただきたい。

ステップ 1

対象者の把握

1 体制整備

養護教諭は、関係機関との連携のための窓口として、コーディネーター的な役割を果たしていくことが重要である。

2 気付く・報告・対応

養護教諭は、日頃の状況などを把握し、児童生徒等の変化に気付いたら、管理職や学級担任等と情報を共有するとともに、他の教職員や児童生徒、保護者、学校医等からの情報も収集する。児童生徒の健康課題が明確なものについては、速やかに対応する。

ステップ 2

課題の背景の把握

1 情報収集・分析

養護教諭は、収集・整理した情報を基に専門性を生かしながら、課題の背景について分析を行い、校内委員会に報告する。

2 校内委員会におけるアセスメント

養護教諭は、校内委員会のまとめ役を担当する教職員を補佐するとともに、児童生徒の課題の背景について組織で把握する際、専門性を生かし、意見を述べる。

ステップ 3

支援方針・支援方法の検討と実施

1 支援方針・支援方法の検討

養護教諭は、健康面の支援については、専門性を生かし、具体的な手法や長期目標、短期目標等について助言する。

2 支援方針・支援方法の実施

養護教諭は、課題のある児童生徒の心身の状態を把握し、必要に応じ、健康相談や保健指導を行う。

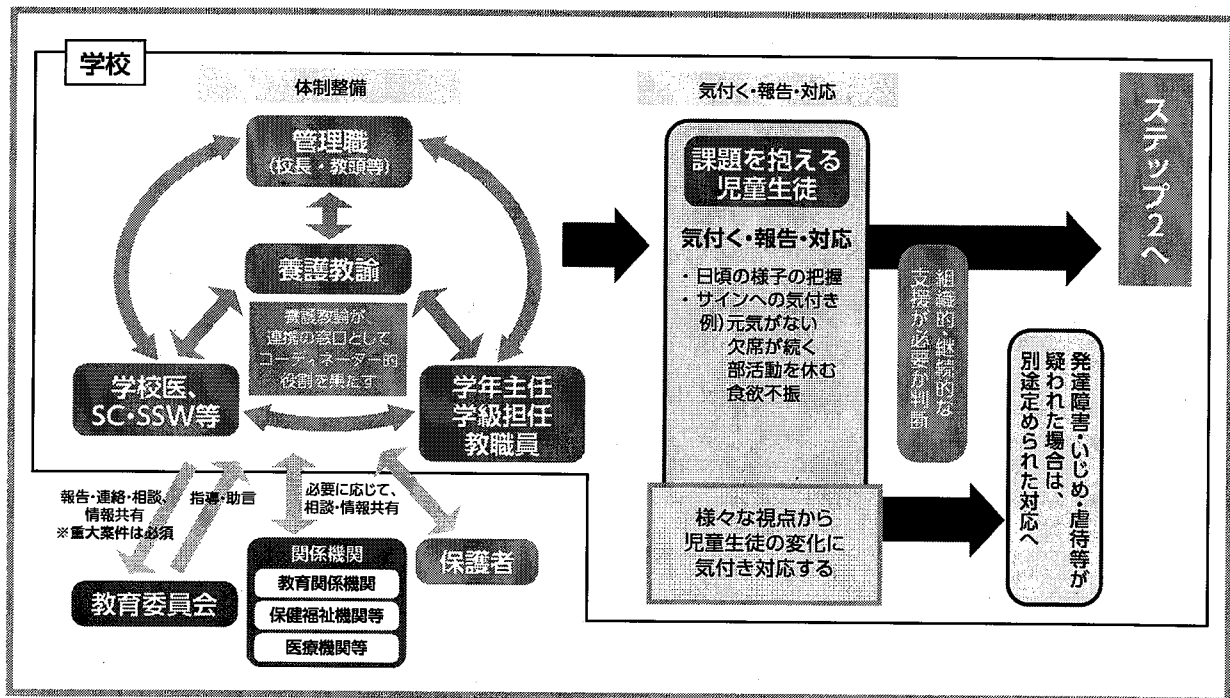
ステップ 4

児童生徒の状況確認及び支援方針・支援方法等の再検討と実施

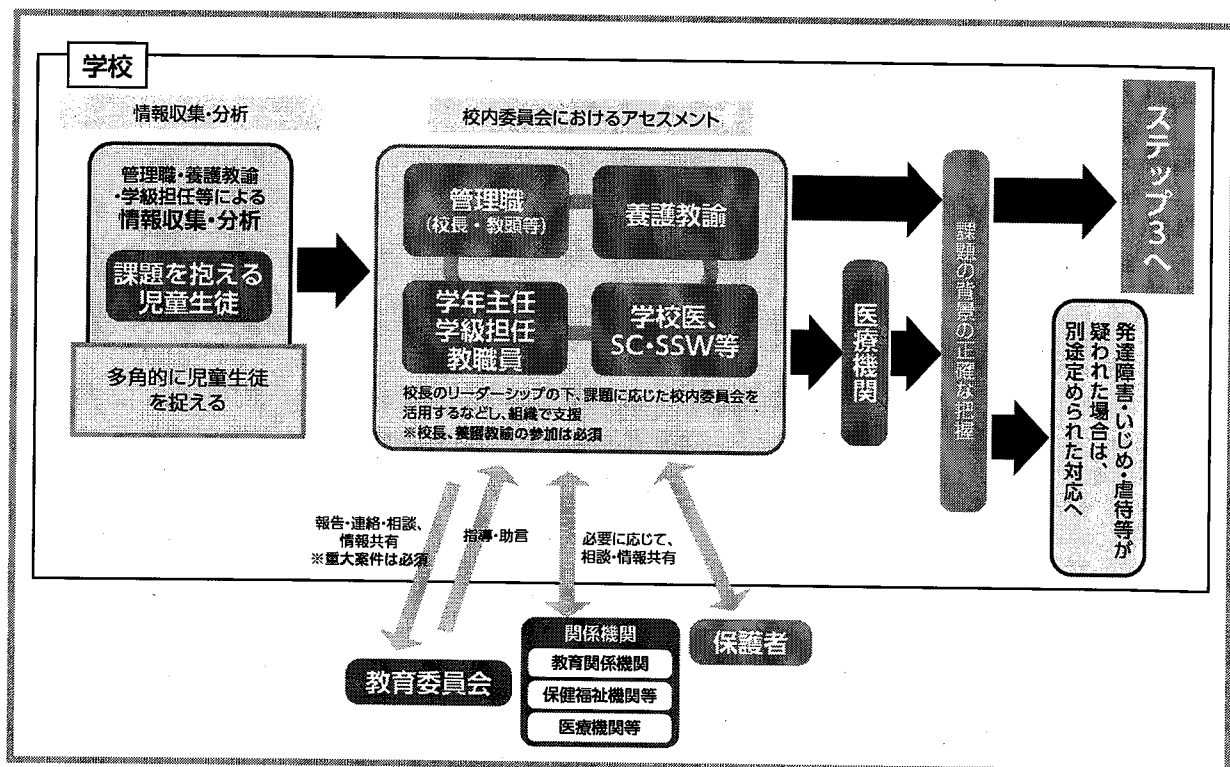
児童生徒の状況確認及び支援方針・支援方法等の再検討と実施

養護教諭は、これまでの支援に基づく実施状況等について、児童生徒の課題が正確であったか、その他の原因は考えられないか、新たな要因が生じていないかなど、情報収集及び分析を行い、支援方針・支援方法を再検討するに当たり、児童生徒にとって有効なものになるか、専門性を生かし助言する。

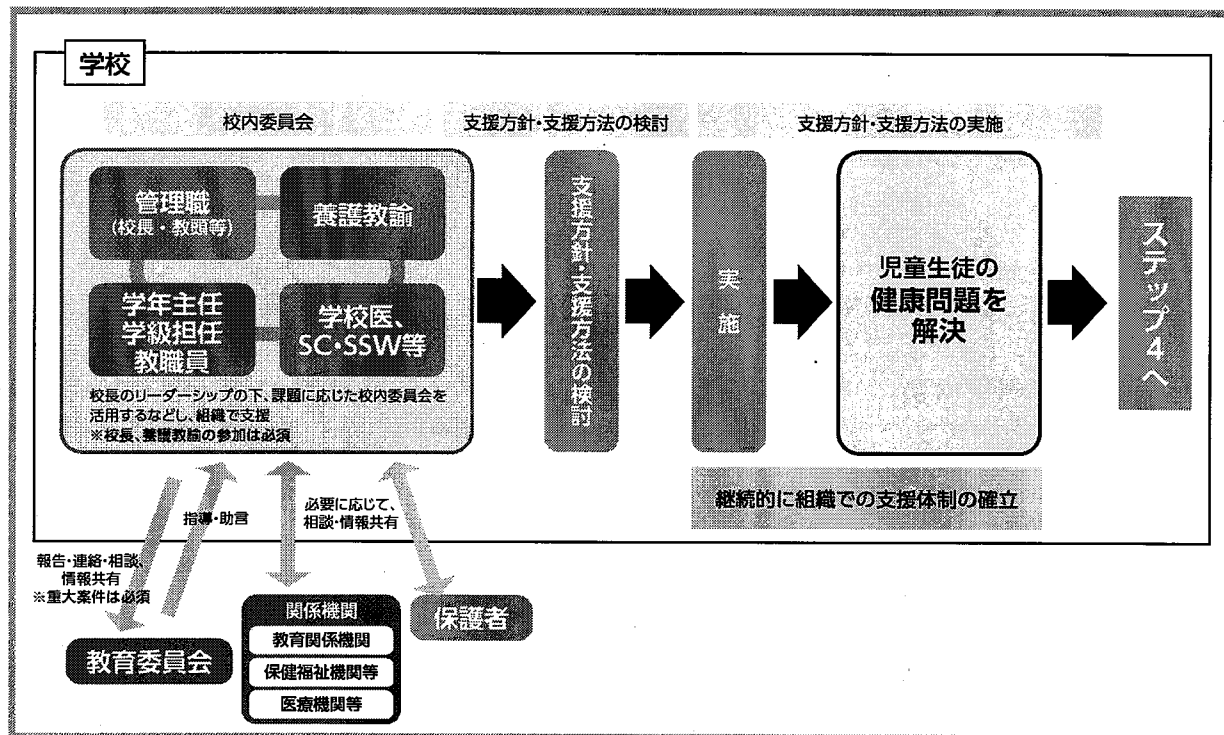
ステップ1 対象者の把握



ステップ2 課題の背景の把握



ステップ3 支援方針・支援方法の検討と実施



ステップ4 児童生徒の状況確認及び支援方針・支援方法等の再検討と実施

